

潜在的な自然の豊かさ残る

～絶滅危惧Ⅰ類の雄のトンボ 東京荒川で確認～

自然回復を掲げる NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムは、2011 年度よりヒヌマイトトンボの保全活動を始動しました。手探りの中、同種の生息状況や生息環境についてモニタリングを行っています。

2 年目を迎えた今年、去年はほとんど見ることでできなかった雄の成熟固体を相次いで確認。7 月 13 日の調査では、終に写真の撮影に成功。紛れもなく、同種が、都市河川荒川に生息していることを証明するとともに、都市河川荒川に未だ潜在的な自然が残存するという事実を社会に発信します。



(写真左)7 月 13 日に発見された雄の成熟固体

生涯を密生したヨシ原の内部で暮らすヒヌマイトトンボは、若い成熟固体においてのみ、開放空間に出てくる性質があります。調査ルートはヨシを刈って道を整備したため、開けた空間が創出されました。これにより成虫を発見する確率が高くなり、より同種の実態を把握することに役立っています。

(写真左下)調査の様子

ヨシ原内でじっと同種が動くのを待つ。約 80m の調査ルートを 2 時間以上かけてじっくりと同種を探しています。



現在の状況と今後の展望

荒川では同種がかつて 10 年ほど前には、河川改修を免れた橋梁の下など複数個所にて生息が確認されていたものの、現在は、足立区の某所 1 箇所においてのみ確認されています。

独特の汽水条件を好むことから環境の変化や開発に適応しにくく、全国では絶滅河川も増えています。裏を返せば、開発が施される前の本来の自然条件の潜在性を示す指標として扱われます。

当法人では、同種の保全活動を展開するとともに、自然本来の豊かさを考える機会の創出をめざしていきます。

本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム 糸岡 〒東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

TEL : 03-3654-7240 FAX : 03-3654-7256 E-mail : renraku@cleanaid.jp